

進路決定に向けて【高等部2年生】

○ 就労アセスメント（B型）について

卒業後、就労継続B型の福祉サービス事業所を進路先とする場合、アセスメント（＝査定、評価）を受けておく必要があります。

＜アセスメント方法＞

- 1 一般の会社、もしくは就労移行の福祉サービス事業所で、現場実習を行い、評価票をもらう。
- 2 3年生の夏休みに、就労移行の福祉サービス事業所で1～2週間アセスメントのための自主的な実習を行う。（申込みは各家庭で行う。詳細は、事業所に確認してください。）

○ 夏休みの活用について

＜学校の進路関係行事＞

- 1 2学期の現場実習打合せに行く。（7月下旬から8月下旬）
 - 2 福祉サービス事業所説明会に参加する。
- ※ 渋川市周辺の福祉サービス事業所に集まっていたき、事業所の説明や、個別相談を実施していただく予定です。

＜実習や就労に向けて＞

- 1 福祉サービス事業所の見学をする。
 - ・ 現場実習先の選定のため。
- 2 福祉サービス事業所の日中一時支援利用をする。
 - ・ 現場実習の練習、事業所の体験。
- 3 入所施設の短期入所を利用する。
 - ・ 家庭等での有事に備え、保護者の元気なうちに体験しておく。
- 4 単独通学の練習、実習先への通勤練習をする。
 - ・ 公共交通機関の利用ができると進路選択の幅が広がります。
 - 一般就労では、ほとんどの企業で単独通勤できることが条件となります。